

# プエルト・リコでの W O N C A に出席して

板東 浩

日本プライマリ・ケア (PC) 学会は、W O N C A の一員として国際的に指導的立場を担ってきている。2005年の京都 W O N C A 大会は諸外国からの評価が高く、成功裡に終えることができた。筆者は広報担当として、Ibero-American W O N C A (アルゼンチン, 2006), アフリカ W O N C A (ナイジェリア, 2008.3), 欧州 W O N C A (トルコ, 2008.9) に参加し、学会の状況や各国の現状などを報告してきた。今回、2009年4月にプエルト・リコの主要都市サンファン (San Juan) で開催された Ibero-American W O N C A に参加したので、報告したい。

## 1. Ibero-American 地域

Ibero-American 地域という表現は、今までそれほど知られておらず、まだ辞書の中に項目として出ていない。Ibero とは、欧州のイベリア半島 (Iberian Peninsula) を意味しており、スペインとポルトガルの2カ国が位置する。同地域ではスペイン語とポルトガル語が使われ、これらの言語圏でみると、中米と南米の国々を含み、一つのグループに大きく属していると考えられる。

換言すれば、中米の国々は、アメリカ合衆国本土に地理的には距離が近いが、話す言葉や歴史、文化、習慣という点では、むしろ南米の国々との関係が比較的強いといえよう。以上のような経緯や事情で、Ibero-American 地域の W O N C A 大会が開催された。

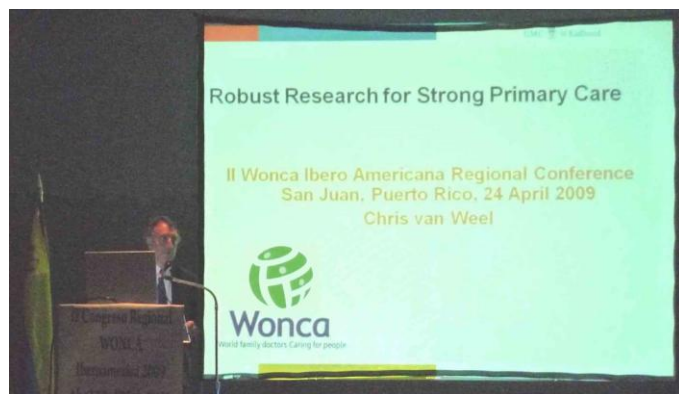
## 2. プエルト・リコでの W O N C A

中米には多くの国や地域がある。メキシコ湾に浮かぶ島々について、西から東の方向に、キューバ、ジャマイカ、ハイチ、プエルト・リコがある。プエルト・リコは歴史的にスペインの植民地であったが、最終的に米国が統治している。つまり、話される言語はスペイン語だが米国の一部であり、commonwealth (米国自治連邦区) という特別な立場にある。

なお、Puerto Rico について、Puerto とは Port (港) で、Rico とは rich (豊かな) という意味である。



図1 会場の国際コンベンションセンター



## 3. W O N C A 会議の概要

今回の W O N C A は、2009年4月23~25日に、サンファン国際空港の近くにある国際コンベンションセンター (Centro de Convenciones) で開催された (図1)。テーマは“Family doctor in service, education and research”で、参加者は20数カ国から約400名であった。

W O N C A 会長の Chris van Weel 教授とは「昨年春のカラバー、秋のイスタンブール、今回サンファンと毎回会いますね」などとお互いに談笑しながらの再会であった。教授のレクチャーは常に明解で示唆に富む。講演のテーマは「PC 医学の研究をさらに強固なものとするために」(図2)であり、次の4領域について触れた。

- ・ 研究とプライマリ・ケア
- ・ 国際的な視点での PC
- ・ 挑戦および不確実性の領域
- ・ 質問から解答へ——診療のエビデンス

これらの中から、興味深いものや参考になるものにつ

表1 PC と科学・研究との関係

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学, 研究, 社会知識を増進<br/>経験と経験主義との差異を認識</li> <li>・ PC 研究との関係<br/>他の領域 (医療人類学) の研究手段を与える<br/>PC の経験を発展させる</li> <li>・ 家庭医療の研究<br/>家庭医療領域での研究<br/>家庭医のための研究<br/>家庭医自身による研究</li> <li>・ エビデンスがなければ進歩はない</li> </ul> |
|---|

表2 家庭医療と病院との比較

|    | Family Medicine   | Hospital          |
|----|-------------------|-------------------|
| 状況 | 健康 (正常)           | 病気 (異常)           |
| 概念 | まず患者があり<br>疾病が異なる | まず病気があり<br>患者が異なる |
| 過程 | どのように患者の具合が悪くなったか | どのように病気が起こり進展したのか |

表3 高血圧に対する FP と内科医の管理の差異

|     | 合併なし                         | 合併あり                           |
|-----|------------------------------|--------------------------------|
| FP  | 介入は少ない<br>時間が少ない<br>目的がある    | 介入は多い<br>時間をかける<br>調査, 探究する    |
| 内科医 | 介入を多く<br>多くの時間をかける<br>調査, 探究 | プロトコルに従う<br>相対的に時間は制限<br>目的が多い |

(Gerritsman en Smal, 1982)

表4 地域志向性のヘルスケアに向けた変革への課題

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家のモデル<br/>疾病の特異性, すべての疾病に一人の医師</li> <li>・ 疾病を同定する<br/>疾病のメカニズム<br/>生物化学的な determinants 決定基</li> <li>・ エピソードを同定<br/>不適切なケア<br/>心身相関の異常</li> <li>・ ジェネラリストのモデル<br/>患者志向性, すべての家族に一人の医師<br/>ニーズに応じた対応</li> <li>・ 疾病を捉える切り口<br/>全人的に, 身体的に, 心理社会的な切り口</li> <li>・ 統合的な視点<br/>包括的な, 予防の cure/care<br/>PC のメンタルヘルス (WONCA-WHO)</li> </ul> |
|---|

いて, 若干紹介したい。氏は日常的な健康問題のトップ10として肥満, 高血圧, 慢性的な神経痛, 難聴, COPD, 虚血性心疾患, 静脈瘤, 脂質異常症, うつ病, 乾癬を示した。また, 大局的な視点から, PC と科学・研究との関係や (表1), 家庭医療と病院との比較 (表2), 家庭医と内科医との比較 (表3), 変革への課題 (表4) についても触れた。

ほかには, ベネズエラの Flor Ledesma 氏から “Evi-



図3 Ledesma 氏による IT の講演



図4 インターネットの活用法



図5 ロビーで行われたポスター発表



図6 WONCA 会長・Weel 教授と筆者

dence-Based Medicine Resources in The Internet” の教育講演が行われた。情報入手法を解説し, 実際的に役立つ内容であった (図3, 4)。また, 広いフロアを活用したポスター発表も16題みられた (図5)。

なお, 24日夜には social program として, 同会場にある3階の巨大なテラスで, Farewell Party が行われた。同国の小気味よいテンポの音楽をバックに, 参加者が歓談し (図6), 次の大会での再会を約束した。